

(様式1)

平成23年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 040	提案機関名 農業技術センター 三浦半島地区事務所
要望問題名 農薬登録促進（適応拡大）のための試験対応（キャベツ、ダイコン、ニンニク）	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 キャベツはメジャー作物であり適応拡大もされているが、近年はセル成形育苗トレイでの登録が多い。当地域は地床育苗が主流であるため、株元処理または土壌混和できる粒剤の登録促進が望まれる。ダイコンもメジャー作物ではあるが、菌核病に対して登録薬剤がない。管内では年内どりを中心に発生が見られているため、登録拡大をお願いしたい。 また、新規作物として特にニンニクは関心が高いが、食用部位により登録が異なり、登録農薬も少なく野菜類登録の銅剤やBT剤が主体である。種球の供給が増えれば栽培面積も拡大することが予想されるので、ニンニクの登録拡大をお願いしたい。 ミラクルフルーツについては、カイガラムシ対策で苦慮しているが登録農薬がない状況にある。希少な作物ではあるが、高収益が見込めることから生産の安定化を図る上でも登録の拡大をお願いしたい。 横須賀市、三浦市での作付け状況（平成20～21年神奈川農林水産統計年報より） キャベツ 横須賀市 357ha、三浦市 751ha ダイコン 横須賀市 22ha、三浦市 775ha	
解決希望年限	①1年以内 ②2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター <input type="checkbox"/> ②畜産技術所 <input type="checkbox"/> ③水産技術センター <input type="checkbox"/> ④自然環境保全センター

回答機関名	農業技術センター	担当部所	農業環境研究部
対応区分	<input checked="" type="checkbox"/> ①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中 <input type="checkbox"/> ③継続検討 <input type="checkbox"/> ④実施済 <input type="checkbox"/> ⑤調査指導対応 <input type="checkbox"/> ⑥現地対応 <input type="checkbox"/> ⑦実施不可		
試験研究課題名	①、②、④の場合） 新農薬実用化試験、かながわ特産品等マイナー作物に対する農薬登録促進、農薬残留確認調査事業		
対応の内容等	県内で必要性のある農薬の登録拡大に関しては、新農薬実用化試験、かながわ特産品等マイナー作物に対する農薬登録促進および農薬残留確認調査事業の3課題のなかで対応していきます。キャベツの地床育苗に対応して、新農薬実用化試験のなかで、プレバソフロアブル5の株元かん注処理（農業環境研究部）、プリンス粒剤のは種時処理（三浦半島地区事務所）の薬効試験を実施中です。ダイコン菌核病に関しては、現状ダイコンの登録薬剤で菌核病に効果が期待できる薬剤としてアミスター20フロアブル（白さび病に既登録）がありますので、今後メーカーに対して適用拡大を働きかけていきます。ニンニクに関しては三浦半島地区事務所と協力し、県内で発生する病害虫を明らかにしたうえで、現在の登録薬剤では対応できない場合、登録拡大にとりくみたいと思います。ミラクルフルーツに関しては、カイガラムシ類被害の実態を調査し、農薬メーカーに対して適用拡大を働きかけたいと思います。登録拡大のための薬効試験を実施するにあたっては、栽培方法などについて普及部門のご協力をお願いしたいと思います。 生産量の比較的多い農作物の農薬登録に関しては、主に日本植物防疫協会の委託試験のなかで、対応が可能な作物・農薬の組み合わせがありましたら、三浦半島地区事務所と協力し積極的に受託、対応していきたいと考えています。		
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③4～5年以内 ④5～10年以内		